

別添 鏡ヶ成草原景観保全作業 実施概要

平成25年度ふれあい事業 鏡ヶ成草原景観保全作業

実施日時：平成25年11月16日（土） 10：00～12：00

場 所：大山隠岐国立公園 鏡ヶ成集団施設地区 （鳥取県日野郡江府町御机）

参加者：8名（募集定員20名）

天 候：晴れ

内 容：奥大山鏡ヶ成で草原・湿原景観の保全の為、一般にボランティアを募集し、湿原乾燥化の要因となるササや低木等の除去作業を行いました。

実施風景



休暇村奥大山ロビーに集合し、これまでの鏡ヶ成での活動についてや安全に作業して頂くための注意事項等をご説明しました。



その後、現場にて、鏡ヶ成湿原・草原についてや、今回保全作業をして頂く区域について説明しました。この区域は、植生調査等をもとにゾーニングした範囲の中から、環境保全のための伐採区域として定めている場所です。

別添 鏡ヶ成草原景観保全作業 実施概要



いよいよ作業開始です。ササや低木などを回収する作業を行いました。背丈が高いササや低木が生い茂ると、湿原・草原の植物が日照を確保できなくなります。また、乾燥化を進める要因にもなります。



気温は低かったものの、天候には恵まれ、烏ヶ山もきれいに見えました。作業をしているうちに体も温まり、上着を脱いで作業をするくらいでした。



伐採範囲では、以前に切り取った低木の萌芽も見られます。それらにも少しずつダメージを与えてやり、他の植物も生育できるよう作業を行いました。



今年で5年目を迎える伐採範囲での作業。ササや低木の除去を行い、明るくなった地面にはツルリンドウの実も確認することができました。



一面にササとハイイヌツゲなどの低木が繁っていた伐採範囲も、ボランティアの皆さんのご協力を得ながら少しずつ広がっています。これからも鏡ヶ成の草原・湿原を見守ってまいります。